

令和3年度第1回総合教育会議 会議録

日 時 令和3年5月28日（金）午後2時45分～午後3時58分
出席者名 深浦市長、松本教育長、酒見教育委員、松永教育委員、山口教育委員、西山教育委員

出席を求めた事務局職員

総合政策部長（東嶋）総合政策部企画政策課長（松本）、教育部長（多久島）教育副部長兼教育総務課長（梶原）、学校教育課長（中尾）、生涯学習課長（川口）、スポーツ課長（春田）、市民図書館長（鴻上）施設営繕課長（吉永）、公共施設マネジメント推進室長（吉永）、学校教育係長（田中係長）、学校教育課指導主事（古賀）、生涯学習課（松尾）

議 題

- 1) GIGA スクールの現状について
 - ・立花小学校の授業の状況
 - ・ICT 支援員について
- 2) コミュニティ・スクールについて
 - ・行政、地域、企業等との連携
- 3) ファシリティマネジメントの推進について
 - ・公共建築物個別施設計画
 - ・学校規模適正化協議会
- 4) いじめ・不登校の現状と対策について

議事録署名者 山口教育委員

傍聴者 3名

開 会

事務局(企画政策課長) ただいまから令和3年度第1回総合教育会議を開会します。
はじめに深浦市長からご挨拶をお願いします。

市 長

皆さんこんにちは。先ほどは立花小学校を視察し、小学3年生のタブレットを使った学習を見させていただきました。時代が変わったという気がします。子どもたちがタブレットを自由に使う、IT教育と言えば情報化教室に行ってパソコンを使って勉強していたのが、机の上にタブレットがあって机の中にキーボードがある、子どもたちが生き生きと学習している姿を見て一つの新しい時代が始まったという気がしました。しかしタブレットはあくまでも道具にすぎないので、いかに使いこなすか、子どもたちのために先生方に使いこなしてほしいと思います。市長になって教育関係を頑張ってきたつもりです。エアコンやデジタル教科書、そ

して今回、コロナ禍のこともありましたが GIGA スクール構想で全児童生徒にタブレットを配布できました。先生方には GIGA スクール研究会で研究していただいております、タブレットという道具を使いこなす子どもたちを育ててほしいと思います。伊万里市の特徴として ICT 支援員を企業の皆さんにお願いしています。子どもたちと年齢の近い若いプログラマーや SE が支援員を勤めます。企業関係の技術や技を子どもたちに使ってほしいと思います。デジタル化することですぐに学力が向上するわけではないでしょうが、一つの有力な武器として使っていただければと思います。今日の議題はコミュニティ・スクールを進めていただいていることや、学校の規模適正化という大きな課題もあります。限られた時間ではありますが、これからの伊万里市の教育について市長部局と教育委員会が一緒になって考える時間をいただいたと思っています。皆様のご意見を伺いながら進めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

事務局（企画政策課長）
教育長

教育長から挨拶をお願いします。

こんにちは。立花小学校 3 年 3 組の子どもたちは本当に楽しく授業をしていました。一緒に見学した教育委員会の皆さんも、昆虫ってそうだったなあと学んだのではないのでしょうか。GIGA スクール構想は、今日のような授業がすべてのクラスで行われているわけではありませんが、今年度いっぱいかけてしっかり研修を積みながら各学校に浸透していけばと思います。コミュニティ・スクールについては、もともと伊万里は地域と学校とのつながりが深く、学校も地域にお世話になってきましたが、さらに子どもたちがまちづくりに、地域が学校づくりにしっかり関わっていける関係を築きたいと思います。ご支援をお願いします。教育をめぐる問題は山積していますが、市長さんを囲んでの総合教育会議は意義深いものがあります。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（企画政策課長）

議事録署名者の選任をさせていただきます。山口教育委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

山口教育委員

はい。

事務局（企画政策課長）

議題の審議に入ります。本日は法に基づき会議は公開としておりますが、個人情報に触れる部分や会議の公正が害される恐れがあると認めるとき、その他公益上の必要性があると認めるときはこの限りでないとされていますので、会議の過程においてこのような部分に議論が至る場合には、傍聴の方にご退席いただくことがありますのであらかじめご了承ください。

ここからは設置要綱第 4 条第 1 項の規定により市長が会議の議

長になるとされていますので、以降の進行は市長にお願いしたいと思いをします。

(1) GIGA スクールの現状について

議長（市長） それでは議題の審議に入ります。（1）GIGA スクールの現状について、先ほど立花小学校3年3組の授業を見せていただきました。皆さんからご感想をいただければと思います。

A教育委員 授業をされた先生はタブレットを効果的に使われていました。ほかの授業も見たいと思いました。

B教育委員 子どもたちは元気に楽しく授業を受けていました。教職員のスキルが向上していくことが必要です。タブレットは調べ学習などで有効に使えると思いますが、一度にアクセスするとどうなのでしょう。

議長（市長） アクセスが集中する時の件について説明をお願いします。

学校教育係長 各学校に元となる回線があり、子どもたちが使い分けることになっています。タブレットの通信速度の上限を設定し、同時に接続があっても上限を超えないように設定され、すべての子どもたちに一定量の通信が確保されるようになっていて、ユーチューブの動画でハイビジョン画質くらいのものであれば一定のスピードは確保できます。

議長（市長） 今日は30人くらいのクラスでしたが、画面が止まらずに動いていると思いました。

B教育委員 セキュリティ面はどうか。

学校教育係長 有害サイトにつながらない設定になっています。個人情報保護は先生方と話しながら進めていて、システム面と先生方の運用の両面で進めています。

議長（市長） 基本的なことにはスクリーニングをかけています。ほかにありませんか。

C教育委員 子どもと一緒に学んでいる感覚になるような魅力的な授業でした。終わって充電に向かう子どもたちに声をかけると、女の子は「楽しい」と言い、別の男の子は「楽しくて仕方がない」と言いました。子どもの「楽しい」を学びにつなげるものとして、いろいろと考えてくださる先生方がきっとたくさんおられると思います。質問ですが、家に持って帰ることが始まっているのでしょうか。オンラインや授業以外の活用の可能性はありますか。

学校教育課長 現段階では持ち帰りはしていません。持ち帰りをするためには、クリアしなければならない問題がいくつかあります。将来的には

持ち帰りができるようなことを目指していきたいと思っています。

学校教育係長

学校では教室の Wi-Fi につながっていますが、家に持ち帰った時にネットワークをどのように確保するかという問題があります。各家庭のネットワークを使うとなると少し問題があります。

議長（市長）

授業だけではもったいない、プログラミングなどもやっていいと思います。無限の可能性はありますが、児童生徒としての節度を考えた上でやっていく必要があります。持って帰って動かなくなった時の対応など、ある程度の技術も必要です。学校で使う時はリモートで ICT 企業が監視できますが、家庭に持ち帰った時に監視できるのかなど、セキュリティの問題があります。公用で使っているのに、使い方は見えるようにしておかないといけません。ほかにありませんか。

B 教育委員

算数のドリル的なソフトなど、学校の要望で入れることができるのでしょうか。

学校教育係長

ソフトは集中管理しており、先生方と話し合いをしていきます。

学校教育課長

学校側の要望と管理側との考え方の違いや、できることとできないことがあるので、GIGA スクールサークルのメンバーと学校教育課係長、担当で調整会議を始めました。定期的に集まって調整していきます。

議長（市長）

デジタルがいいものもあれば紙がいいものもあり、デジタル教科書が増えているという意識でやっていくべきだと思います。ほかにありませんか。

D 教育委員

授業を拝見して、子どもたちのきらきらした目を見ることができました。楽しい授業になっていくことを期待します。子どもたちは真新しい機器を目の前になると楽しくて嬉しいのだなということが伝わってきました。

市長（議長）

GIGA スクールは始まったばかりで、子どもたちの思いがけないような使い方などいろいろ出てくると思います。真に役に立つ道具として使えるよう見守る必要があると思いますので、ぜひ、また意見交換をさせていただきたいと思います。

次に ICT 支援員の業務内容等について説明をお願いします。

学校教育課長

ICT 支援員の業務内容として、まず、安定した運用と端末の効果的な活用のための機器の運用、操作指導があります。2 つめに、機器等に障害が起きた時にヘルプデスクからの指示に従い、可能な範囲で対応していただくこと、3 つめはオンライン授業で活用するサービス、例えばマイクロソフト社のチームスなど、機器の操作補助をしていただくこと、4 つ目に教職員のスキル向上のための指導、助言を考えています。

議長（市長）
C教育委員
学校教育課長

ご質問、ご意見等はありませんか。
支援員は何人ですか。

5人を考えています。大規模校の4校、伊万里小学校、大坪小学校、立花小学校、伊万里中学校は週2回、その他の学校は週に1回配置する計画です。緊急にトラブル等が発生した場合はそちらを優先して支援していただきます。

議長（市長）

組織に頼んでいるのでその中で動いてくれると思います。支援員は若い人が多く、小中学校時代からCAIの勉強をしてきている人たちです。教育委員会にITスキルをもった職員を配置していますので彼らもやってくれると思います。教育委員会の職員も最低限のレベルの情報共有をして、電源を落とすとかデフォルトに戻すなど勉強してほしいです。また教育委員会だけでなく全体として、市長部局の職員や地域の中にある各コミュニティセンターの職員も対応するようにしてほしいです。タブレットの基本的なスペックを共有し、現場の先生方と一緒に力を出し合っていきたいと思います。

(2) コミュニティ・スクールについて

議長（市長）
学校教育課長

次に(2)コミュニティ・スクールについて、行政、地域、企業等との連携について説明をお願いします。

コミュニティ・スクールは、これまで以上に地域の方々に学校経営に参画してもらい、学校と地域が学校教育目標や経営ビジョン等を共有しながら一体となって子どもたちを育てていくことを目指すものです。今年度から本格的に中学校区単位でスタートしました。地域学校協働活動推進員の方に学校とコミュニティセンターをつないでいただきます。南波多郷学館では地域人材を生かした学習活動ということで、川柳教室やタイワンスバメシジミの保護活動など学校の教育活動の年間計画に入れ込みながら具体的に進めていく準備が整っています。他の中学校区のコミュニティ・スクールについて現在の動きを確認したところ、学校運営協議会委員の人選が済んだ、1回目の協議会の開催日が設定できた、運営協議会の規約の確認ができた、学校運営の基本方針の説明と承認を得た、具体的な活動の検討を始め、地域人材を生かした学習活動をどのように展開していくのかという検討に入ったところや、活動のキーマンとなる地域学校協働活動推進員の選定が済んだという報告を受けています。

議長（市長）

ご意見等をお伺いします。

A 教育委員

山代中学校区の学校運営協議会に関わっています。学校目標経営方針の承認が済んで役職も決めましたが、地域学校協働活動推進員の人選はこれからです。今後どのように進めていくのか模索しています。現在のところ、山代西小学校で講話をしたり、川南造船所のことについて話しに行くなど予定しています。

議長（市長）
学校教育課長

南波多の例などありますか。

南波多郷学館の前身である南波多小学校に教頭として勤めました。その時の反省としては、学校に地域の力を借りようという方向で考えていた向きがありました。振り返ってみると、例えば、学校でふれあいコンサートを開いて地域に公開した時、おじいちゃんやおばあちゃんが本当に楽しみにされて、来年のこのイベントを楽しみにこれからも頑張るといような話をされます。学校が地域に貢献するという視点を持たないといけない、学校がまちづくりに貢献してほしいと思っています。

教育長

現在はコロナ禍の状況であり、学校運営協議会がどこまで計画できるかということがあります。今年は学校運営協議会の将来的な姿を考え合う年になるという気がします。今年ではできなくても将来的にはこんなことができるかなという話題が、各中学校区でできればと思います。また、中学生が地域に貢献できない部分を感じていますので、コミュニティ・スクールから発信して、中学生が地域に関わっていく姿をぜひ考えてほしいと思います。

議長（市長）

地域に何をしてもらおうかということだけでなく、学校が地域に何ができるかということはいいことだと思います。7つの校区で良いものを出し合ってもらえればと思います。

(3) ファシリティマネジメントの推進について

議長（市長）

次に、ファシリティマネジメントの推進について協議したいと思います。この計画は、人口推計や施設等の状況を鑑みた上での事務レベルでの考えですので、教育的見地からの条件を加味しながら今後考えていくことになると思います。公共建築物についての施設計画を作っていますので、企画政策課から説明をお願いします。

公共施設マネジメント室長

令和3年3月に公共施設の適正管理を目指して、伊万里市公共建築物個別施設計画を作成しました。ファシリティマネジメントの考え方という視点で説明します。施設の利用状況や健全度を確認した上で、現時点で推計できる人口動向や将来需要を見込みながら、できるだけ既存施設を有効活用する視点で作成しています。

公共施設の適正配置ということで、現時点で考えられる最善の方針という形で作成しており、計画の作成をもって完了ということではなく、今後も最新のデーターなどを用いて継続的に見直していくことが重要と考えています。施設の約半分を占める小中学校の統廃合については教育的視点などを踏まえて決定されるものであり、この計画をもって統廃合が決定しているものではありません。

今後の人口推計では、30年後は市内の大部分で人口が減少し、1万人以上の人口減少が見込まれます。地区別では、立花地区が増加傾向、二里地区が現状維持、他はすべて減少傾向です。年齢別人口では、0歳から14歳までの子どもは立花小学校区で増加傾向、二里小学校区が現状維持、中学校区で見ると伊万里中学校区と国見中学校区は他校区と比べてやや減少傾向で、他は大きく減少していく傾向です。

今回作成した個別施設計画は、学校施設や公共建築物の長寿命化とは連携していますが、土木インフラとは連携しておらず、今後、道路や橋梁などの土木インフラとの連携をどのようにしていくのか課題です。計画期間は2021年（令和3年）から2060年までの40年としています。

市が保有する公共建築物は全体で819棟、延床面積約24万平方メートル、計画の対象としている建物が335棟、延床面積約23万平方メートル、このうち約5割が小学校、中学校など学校施設であり、107棟、延床面積約10万平方メートルです。

公共施設マネジメントが目指すものは、施設の総量縮減、数を減らしていくことが大きなポイントになります。費用推計では、施設が壊れてから対応するやり方を続け、施設の統廃合に取り組まず対策を講じない場合、40年間の施設改修、更新事業費は総額851億円、平均で年間21億円程度必要です。これに対し、今回定めた方針により施設の統廃合などで総量を縮減し、施設が壊れる前に計画的に長寿命化など維持管理対策を講じた場合、40年間で総額323.8億円、年平均8.1億円と推計しており、現在、公共建築物への年間投資額が7.6億円程度ですので、捻出できる金額と考えます。単純に比較して40年間で527.2億円、年平均13.1億円の更新費用を縮減できると見込んでいます。

更新費用を削減するためには施設の総量縮減が絶対条件であり、今回策定した計画を一つの方針としながら、公共施設の適正配置について、地域の皆様、関係者の皆様と考えていきたいと思っておりますのでご協力をお願いしたいと思います。

議長（市長） ご質問等はありませんか。（特になし）この話をすると、夢がないよとよく言われます。本当は夢がある話をしたいですが、まずはしっかり考えること、30年後40年後をしっかりと考えて政策的に加味していく部分が出てくれば軌道修正していいと思います。甘く作るとあの時の計画は間違っていたとなる。40年前に私は、マスタープランを人口が増える考えで作っていました。現状は厳しい部分に近くなっています。まず現実を見て、老朽化しているものをどうしていくか、伊万里中学校や東山代小学校を作るにあたってこのような計画に基づいてやっていきたいと思っています。施設営繕課長から何かありませんか。

施設営繕課長 東山代小学校については今年度、設計準備をしています。7月くらいからコミュニティセンターを含めた複合施設の計画を地元と一緒に進めていきたいと考えています。

議長（市長） 現実を見た中で、厳しめに見た計画であり、今後いろいろ加味する部分が出てくることもあると思います。教育的視点からのご意見等があればお受けしていきたいと思っています。併せて、学校規模適正化協議会について、説明をお願いします。

学校教育課長 昨年度の協議会の報告をします。昨年度は協議会を3回開催し、3回目の協議会で、令和3年度に協議をしていく上での一定の方向性を見出す必要があるということで、校舎の老朽化が著しい大川小学校、松浦小学校については東陵中学校と合併し義務教育学校とするという、牧島小学校については複式学級解消の可能性があるため現時点では統合は保留とするという、山代西小学校については、山代中学校と山代東小学校との義務教育学校による統合ではなく、段階を踏んで、山代東小と統合するという方向性を見出していただいています。今年度は協議会を2回予開催し、2回目の協議会で答申をいただく予定です。4月に松浦、大川、山代、牧島のコミュニティセンターを訪ね、区長会長やコミュニティセンター長に、各地域で教育を考える会を設置してもらえないかお願いしました。滝野校については現在、閉校に向けて準備を進めていただいております。統合通学対策部会、閉校事業部会を作り準備を進めていただいております。児童生徒は月に一回のペースで東山代小学校、国見中学校と交流を進め、統合しても子どもたちが戸惑わないように、いろんな教育活動を一緒に進めています。

議長（市長） ご意見等はありませんか。

A教育委員 山代西小学校は全校児童が40人くらいで、山代中学校も90人くらいしかいません。一度に統合すれば経費も安くなるのではという意見や、コミュニティセンターが古いので小学校か中学校の

空いたスペースにという意見もあります。

議長（市長）

山代コミュニティセンターに行った時に、そのような話がありました。地元の皆さんがどこにコンセンサスをもっていかれるかということだと思います。滝野校においても、小学校も一緒に統合しようという話が出てきて、教育に関する考え方が伊万里市全体を出したことで少し変わってきたように思いました。これまでは個別に特定の地域だけ集中的に話していたように思います。山代地区の皆さんからは一緒に統合した方がいいという意見もありましたので、コミュニティ・スクールやまちづくり委員会などで十分議論していただき、地域の皆さんがこういう形でやりたいという気持ちが強くあれば、併せてやっていければと思います。一緒にやろうという機運を山代地区で強く感じます。一つの考え方として出していただいたのは大変ありがたいので、その方策も考えていきたいと思います。今、若手の方が動こうとしておられます。彼らの意見を十分尊重して、10年後の山代町をどうしていきたいのか、山代地区が動いてもらっていることによってほかの地区でも動きが出てきていると感じます。一緒にやっていきたいと考えますのでよろしくお願いします。

(4) いじめ・不登校の現状と対策について

議長（市長）

学校教育課長

いじめ・不登校の現状と対策について説明をお願いします。

いじめ・不登校の現状と対策について報告します。令和2年度のいじめの認知件数は、小学校 127 件、中学校 39 件、合計 166 件の報告があっています。件数が多い印象を持たれるかもしれませんが、軽微なもの、例えば軽くぶつかられたというようなことでも、ぶつかられた方が嫌だと感じればいじめとして認知する方法が変わっています。軽微なものと判断して見逃すのではなく、子どもたちの生命に関わる重大事態に発展する可能性もあるのがいじめですので、そういう認識のもとに、初期対応として積極的に認知していく考え方に変わっています。認知件数 166 件のうち、一番多かったのは冷やかしやからかいなどの嫌なことを言われるということが 98 件、軽くぶつかられたり叩かれたり蹴られたりするということが 35 件、その他の項目では、シューズを隠された、ノートに落書きされた、避けられた、距離をおかれた、反抗的な態度を取られた等が挙げられています。市のいじめ防止対策等緊急スクールカウンセラーの活用状況は 14 件、年間 65 時間の相談があっています。発達障害等の特性をもった子どもたちのトラ

ブルもあり、子どもたちや保護者、教職員への助言等をいただいたりしています。

次に不登校の状況です。不登校とは年間30日以上欠席者で、小学校で31名、中学校で65名、計96名が報告されています。小学校、中学校ともに心因性によるものが多く、次に怠惰、非行によるものです。怠惰、非行の中には様々な家庭の事情を抱えている子どもたちもいて、環境によって不登校になっているものも含まれています。

最後に、教育支援センターせいらの状況を報告します。令和2年度は本教室23名、西教室5名、合計28名が通級し、本当に嬉しいことですが年度途中で5名が学校復帰を果たしました。新型コロナウイルス感染症の影響で例年通りのイベント実施が難しく、通級生にとっても寂しい一年だったと思います。そのような中でも、プログラミングの体験や黒髪少年自然の家からのイベント等を開催し、通級生が楽しく参加している姿を見ることができました。また今年度、不登校支援の一つとして、パソコンの活用ができるようにパソコンを3台設置してネットワーク環境整備を行っています。

議長(市長)

せいらでパソコンが使えるように環境設定ができたのですね。皆さんからご意見等はありませんか。

B教育委員
指導主事

認知されたいじめは解決しているのですか。

認知して3ヶ月経過して解消となるため、5月末に解消となります。

C教育委員

せいらに通うには保護者送迎が必要で、昼食も用意しなくてはならず、親が働いているために行けない子どももあるのでしょうか。

学校教育課長

これまで西教室を開いている時も、通級している子どもさんは、ほぼ保護者の送迎でした。現在、本教室に集約していますが、通級してくる子どもたちは、ほぼ保護者の送迎です。

指導主事

保護者送迎が中心ですが、自転車や徒歩のほか、いまりんバスを使って来る子もいます。

C教育委員
議長(市長)

わかりました。

ほかにありませんか。(なし)全体を通してご意見等はありませんか。(なし)

今日、一人1台端末で学習する子どもの姿を見て、これまでは情報化教室でデスクトップパソコンを使ってみんなで行っているイメージでしたが、教室の様子が変わってきたと思います。ぜひ地域の人にそういう状況を見てほしいと思います。情報モラルや

リテラシーは大人も理解していく必要があります。ゲームをやっているイメージが強いので、教育として使っていくということを見せてほしいと思います。小中学校の規模適正化については、皆さんの意見を聞いていきたいと思います。

これで第1回総合教育会議を終わります。

(午後3時58分 終了)